

びわ湖環境体験プログラム

びわ湖トラストでは、平成23年8月11日（木）に「びわ湖にふれよう！～カヌーに乗って、びわ湖の生き物を調べよう～」を開催いたしました。これは当NPOが主催する「びわ湖環境体験プログラム」の一つで、びわ湖の水を飲んでいる小学生とその保護者の方を対象に、びわ湖を取り巻く環境について、わくわく楽しく学んでもらう体験型プログラムです。

今回、大津市雄琴にあるオーパルの主管の元、カヌー体験、水草調べ、採取した水草を使ったパウチ作り、プランクトンの観察など、5家族13名の方に参加していただき、夏休みの1日を楽しく学びながら過ごしていただきました。講師にプランクトンがご専門の滋賀県立大学客員研究員 巖 靖子先生をお招きし分かりやすく面白い説明を受けました。



環境学習担当浅野昌也理事からの報告

びわ湖を楽しみながら体験してもらおうと、親と子が一緒になってカヌーに乗って、自然にふれあい、水草を採集したり、プランクトンを観察したり、そしてびわ湖の生き物や環境について親子で共通の話題を提供できればよいなと思って企画しました。さらに言えば、子供たちが自分自身で生き物にさわり、顕微鏡で観察し、分からないことは専門家に聞くような機会がもてれば、子供たちがもっと理科好きになってくれるのではという思いもありました。そして当日はお天気にも恵まれ、自分の力で音もなくすいすいと水上を進む楽しさに自然とVサインがでてきたり、自分たちが採集した水サンプルを顕微鏡で見ると、透明で何も見えなかったのに、動くプランクトンが見えたりする楽しさを味わってもらえました。また水草の名前や顕微鏡で観察したプランクトンの名前を専門の先生に聞いたり、図鑑と首っ引きで時間を忘れて見入っていました。

最後になりましたが、カヌーの体験指導や実験準備をしていただいたオーパルの皆様や、びわ湖の生き物についての説明、プランクトンの採集、顕微鏡観察の指導や子供たちの質問にも丁寧に答えていただいた県立大学の皆様に心からお礼申し上げます。

参加者のアンケートも好評でしたので、来年もさらに充実させより多数の方に参加願うよう努めてゆきます。